

「救急外来受診患者の応需率・治療成績向上のための臨床経過の調査ならびに緊急手術・集中治療室入室予測に関する検討」に対するご協力のお願い

研究代表(責任)者 松岡 義

研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 救急医学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

以下の条件を満たす患者さんの診療情報が対象となります。

- ・2015 年 1 月 1 日から 2026 年 12 月 31 日の期間に救急車で当院の救急外来を受診された方

2 研究課題名

承認番号 20241122

研究課題名 救急外来受診患者の応需率・治療成績向上のための臨床経過の調査ならびに緊急手術・集中治療室入室予測に関する検討

3 研究組織

研究代表機関

慶應義塾大学

研究代表者

(職位) 助教 (氏名) 松岡 義

共同研究機関

東北大学大学院医学系研究科

研究責任者

(職位) 助教 (氏名) 大邊 寛幸

外科病態学講座

藤田医科大学病院

(職位) 助教 (氏名) 松井 大知

横浜市立大学学術院医学群

TXP medical

(職位) 教授 (氏名) 後藤 匡啓

(職位) 研究員 (氏名) 柴田 潤一郎

4 本研究の目的、方法

救急外来は緊急を要する疾患に対して、年齢、性別、内因性/外因性、疾患領域に関わらず、全ての患者を受け入れております。近年の病床利用率の上昇、ならびに手術室稼働上昇に伴い、大学病院などの入院・手術治療などの対応が難しい時間帯がございます。上記の背景からも救急車で搬送された患者さんが転送となっている状況が発生しています。本研究によって、救急車からの要請の段階で手術などの可能性を予測することが可能であれば、場所・人員の事前確保などが可能となり、速やかな治療介入により診療成績の向上が見込まれます。加えて、事前情報による集中治療室や手術室の調整の結果、従来では不応需だった症例も応需可能となり得ます。本研究を通し、救急患者様の受け入れ数の増加や治療成績向上を目的としています。

5 協力をお願いする内容

診療情報を閲覧し、患者背景や治療内容や検査データなどを収集し、当教室で保管します。また、その研究結果を学会、学術誌等で発表することがあります。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2026 年 12 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

松岡義・救急医学・03-3225-1323（土曜日と病院休診日を除く午前 9 時～午後 5 時まで）

以上